

む さ し の し
武蔵野市

しょうがいしゃけいかく だい き しょうがいふくしけいかく
障害者計画・第6期障害福祉計画

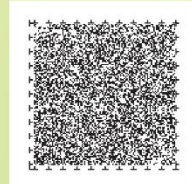
ささ あ
～支え合いのまちづくりをめざして～

がい よう ぼん ぼん
概要版（わかりやすい版）

れいわ ねんど れいわ ねんど
令和3（2021）年度～令和5（2023）年度

れいわ ねん がつ
令和3（2021）年3月

む さ し の し
武蔵野市



1 障害のある人についての福祉計画を 作り直しました。

3年ごとに話し合っ作っている「障害のある人についての福祉計画」を、作り直しました。

この計画では、武蔵野市でみんなが幸せに暮らしていける社会づくり「地域共生社会」ということを、話し合いの一番大切なこととしました。

障害のある人もない人も、若い人もお年寄りも、みんなが武蔵野市で暮らし続けながら、幸せな毎日を送れるようにと考えています。

武蔵野市に住んでいて本当に良かったと思えるように、みんなで守っていきたい目標を決めました。

この「障害のある人についての福祉計画」の正式な名前は、『武蔵野市障害者計画・第6期障害福祉計画』といいます。

障害者計画……これからの障害者福祉を進める大きな内容を決めた計画です。

障害福祉計画…なるべくこまかくサービスの内容などを決めた計画です。

2 これから3年間の計画です。

計画を進める期間は、令和3（2021）年4月から令和6（2024）年3月までの3年間となります。

3 話し合いで決めた目標

話し合いで決めた目標を「基本目標」と呼んでいます。

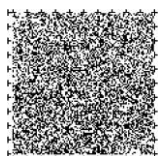
【基本目標】

障害のあるすべての人が、住み慣れた地域社会の中で
生涯を通じて安心して、自分らしい生活を送るために

【内容】

障害のある人もない人も、みんなの武蔵野市で

いつまでも安心して、一人ひとりが、楽しく暮らせるようにすること



4 はな あ たいせつ 話し合いで大切にしたこと

しょうがい ひと ひと しょうがい たいせつ たいせつ たいせつ たいせつ たいせつ
障害のある人もない人も、みんなの武蔵野市で、いつまでも安心して一人ひとりが楽しく暮らせるようになるために、大切にしたいことを4つ決めました。
はな あ き たいせつ たいせつ たいせつ たいせつ たいせつ たいせつ
話し合いで決めた大切にしたいことを「基本的視点」と呼んでいます。

※1)～4)は元の文章です。

1) 「ウィズ・コロナ」社会に対応した取組みを推進し、継続した障害福祉サービスの提供と現場で対応する職員の安全確保、市民への適切な情報提供に努めます。

ないよう 内容 みんなが、コロナウイルスにかからないための取組みを進めます。
みなさんも、はたら 働いている しょくいん 職員も、まいにちあんしん 毎日安心して生活できるようにします。たいせつ 大切なお知らせを、わかりやすく づた 伝えます。

2) 障害のあるすべての人が自らの選択に基づく生活スタイルを確保し、地域で安心して暮らし続けることができるよう相談支援体制を充実させます。

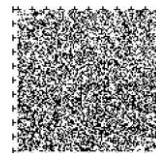
ないよう 内容 みなさんの、せいかつ 生活についての きぼう 希望を聞きます。
あんしん 安心して暮らせるように、はなし 話を聞いて いっしょ 一緒に かんが 考えてくれる人 やまどぐち や窓口をわかりやすくします。

3) ライフステージに応じた地域生活の選択が可能となるよう環境の整備を進めます。

ないよう 内容 こ 子どものときも、おとな 大人になっても、ずっと たいせつ 武蔵野市で暮らしたいという きぼう 希望が、かな 叶えられるようにします。

4) 広く市民の中で障害が正しく理解され、一人ひとりの多様性を認め合い、差別や権利侵害のないまちづくりを推進していきます。

ないよう 内容 いじめられたり、なかまはず 仲間外れにされないように、みんな で なかよ す 仲良く住める たいせつ 武蔵野市にしていきます。



5 計画の中で、特に力を入れて取り組む内容

1 障害のある人が利用している色々な福祉サービスを、コロナウイルスに
負けないで、引き続き利用できるようにします。
(新型コロナウイルス感染症対策)

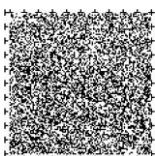
- 主な内容
- ・ 障害のある人へ、大切なものごとをわかりやすく伝えます。
 - ・ わかりにくいことや不安なことには、きちんと聞きます。
 - ・ 武蔵野市だけでなく、東京都や国と相談します。

2 困っていることは一人ひとり違います。丁寧に話を聞いて、不安なこと
やお手伝いが必要なことは、市役所やサービスを行う人たちが色々と
相談できるようにします。
(相談支援体制の強化)

- 主な内容
- ・ 話を聞く場所や人をわかりやすくします。
 - ・ 一人ひとりの困りごとや、不安なことを丁寧に聞きます。
 - ・ 困りごとや不安なことは、みんなで力を合わせて相談します。

3 みなさんの困りごとや、不安なことを受け止め、市役所やサービスを行う
人たちが協力しながら、みなさんをお手伝いします。
(地域生活支援の充実)

- 主な内容
- ・ お医者さんや看病してくれる人、お世話をしてくれる職員など、
みんなで力を合わせて手助けするしくみをつくります。
 - ・ 地震などが起きた時にも、困らないように準備をします。



4

じょうず ^{ひと} ^つ ^あ ^{ひと} ^{あんしん} ^{せいかつ}
 上手に人とお付き合いすることができない人も、安心して生活したり、
 しごと ^{ひとり} ^{てつだ}
 仕事ができるように、一人ひとりにあったお手伝いをします。
 (しゃかいさんか ^{じゅうじつ})
 (社会参加の充実)

- おも ^{ないよう}
 主な内容
- いろいろ ^{はたら} ^{かた} ^{ようい}
 ・ 色々な働き方を用意します。
 - ^{せいかつ} ^{たの} ^{かつどう}
 ・ 生活が楽しくなる活動をつくります。

5

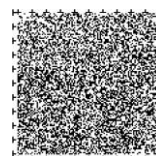
こ ^{まいにちたの} ^す ^{むさしのし} ^こ ^{かぞく}
 子どもたちが毎日楽しく過ごせる武蔵野市をつくります。子どもと家族を
 いろいろ ^{ほうほう} ^{たす}
 色々な方法で助けます。
 (しょうがい ^{じしえんたいせい} ^{じゅうじつ})
 (障害児支援体制の充実)

- おも ^{ないよう}
 主な内容
- いろいろ ^{てだす} ^{ひろ} ^{おこな}
 ・ 色々な手助けやサービスを広くまとめて行うしくみをつくります。
 - ^{せんぱい} ^{かあ} ^{わか} ^{かあ} ^{はなし} ^{かつどう}
 ・ 先輩お母さんなどが、若いお母さんなどと話ができる活動をしします。
 - ^{からだ} ^{しょうがい} ^こ ^{ほうかご} ^{りよう}
 ・ 体に障害のある子どもなどが、放課後に利用できるサービスをつ
 くりまします。

6

むさしのし ^く ^{たが} ^{みと} ^あ ^{ひと} ^{なかよ}
 武蔵野市に暮らすみんなが、お互いに認め合って、たくさんの人と仲良
 め ^{めざ}
 くできるまちづくりを目指します。
 (しょうがい ^{しやさべつかいしょう} ^む ^{とりく} ^{すいしん})
 (障害者差別解消に向けた取組みの推進)

- おも ^{ないよう}
 主な内容
- ^{しょうがい} ^{ひと} ^{たいせつ} ^{つた}
 ・ 障害のある人にも、大切なことをわかりやすく伝えます。
 - いじめをなくします。
 - ^{むずか} ^{いっしょ} ^{かんが} ^{つか}
 ・ 難しいことを一緒に考えてくれるしくみを使いやすくします。



6 しょうがいしゃ すいい 障害者の推移

へいせい ねんど から れいわがん ねんど までの 5 年間の しょうがい ひと にんずう 障害のある人の人数です。

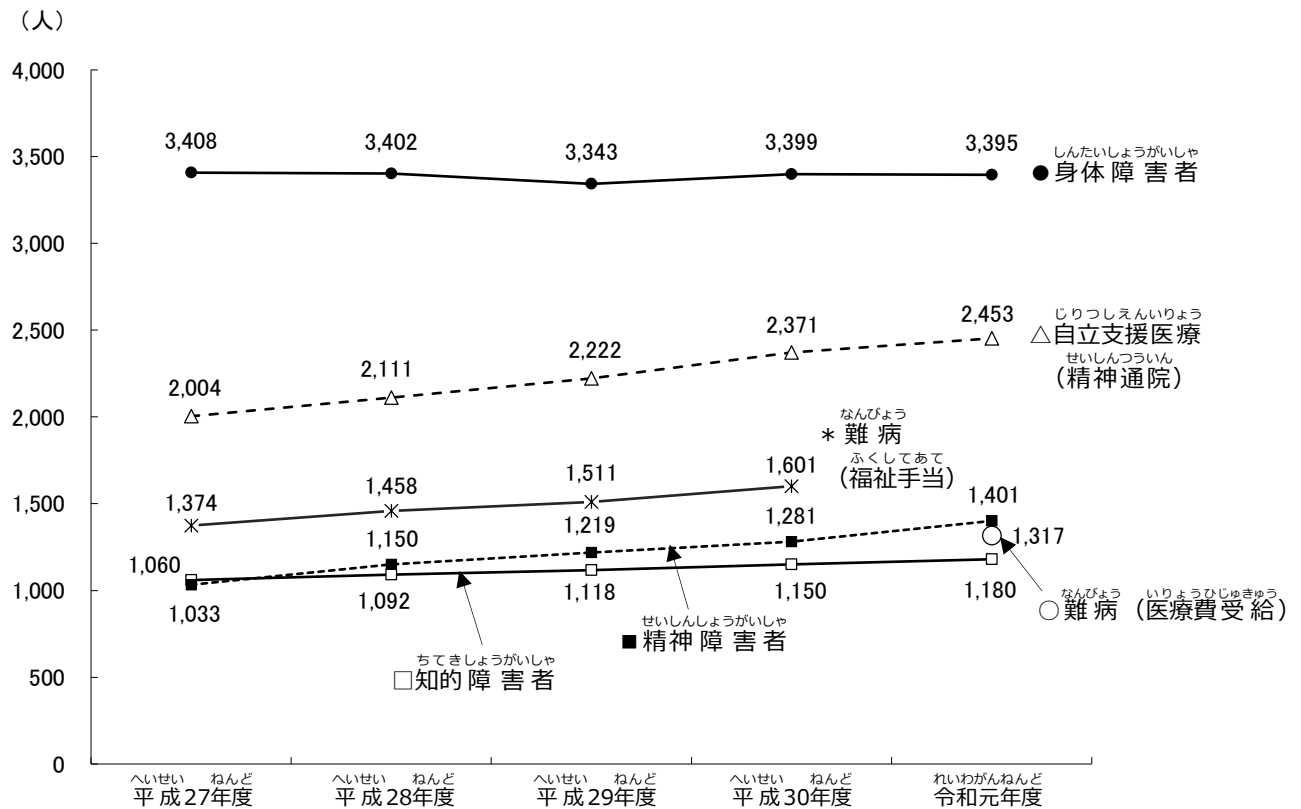
しんたいしょうがいしゃ かず か 身体障害者の数はあまり変わりません。

ちてきしょうがいしゃ かず すこ 知的障害者の数は少しずつ増えました。

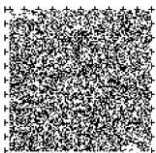
せいしんしょうがいしゃ かず 精神障害者の数は増えました。

なんびょうしゃ かず へいせい ねんど まで すこ 難病者の数は平成30年度まで少し増えました。

しょうがいしゃすう すいい <障害者数の推移>



※各年度3月31日現在、各手帳所持者(重複含む)。難病(特定疾患)は平成30年度までは難病者福祉手当受給者数、令和元年度は難病等医療費受給者数。



7 じっさい と く 実際に取り組むこと

新：新しい取り組み

拡：今よりも良くする取り組み

基本施策 1

みんなで助け合うようにすること

(まちぐるみの支え合いを実現するための取り組み)

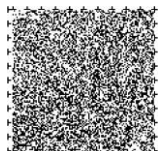
施策	番号	区分	事業
健康でいる取り組みと健康に役立つ食事	1	新	健康でいられる取り組みと健康に役立つ食事について考える
すすんでみんなで助け合う	2		みんなで助け合うまちづくり
	3		助けてくれる人を増やしていく
みんなで仲良く暮らせるようにいじめをなくす	4	拡	みんなで仲良く暮らせるように、今より工夫する
	5		いじめをなくす
	6		障害のある人もない人もお互いに理解し合う
	7		ヘルプマークとカードを使いやすくして、みんなにわかってもらう
	8		知りたいことをわかりやすく伝える

基本施策 2

健康でいられるようにすること

(生命と健康を守る地域医療充実への取り組みと連携の強化)

施策	番号	区分	事業
健康でいられるように、お医者さんや保健師さん、看護師さん、福祉の人などが、力を合わせる	9		身近なお医者さんや手伝ってくれる福祉の人が力を合わせる
	10	拡	特別な機械を使っている人を助ける内容を、前もって決めておく
	11		精神科の病院などに長く入院している人たちがまちで暮らせるようにする
	12		依存症という病気が良くなるようにする



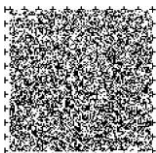
基本施策3

これからも安心して暮らしていけるように、

困っていることを相談しやすくすること

(安心して暮らし続けられるための相談支援体制の充実)

施策	番号	区分	事業
こま 困りごとを相談しやすく する	13	新	相談できる所をわかりやすくする
	14	新	困りごとを解決しやすくする
	15		相談を受ける職員を育てる
	16	拡	ひきこもりの人が相談しやすい窓口を用意する
	17		難病の人が相談しやすい窓口を用意する
たの 楽しく生活する	18		障害に合わせて働けるようにする
	19		市役所などで働く練習をする
	20		働きやすくなるように力を合わせる
	21		生活が楽しくなる活動をつくる
	22		話を聞いたり、体を動かしたり、絵をかいたり、たくさん のことができるようにする
あんしん 安心して生活できる	23		安心して生活できるように、みんなで力を合わせる
	24		途中で障害となった人を助けるしくみをもっと良くする
むずか 難しいことを一緒に考 える	25		難しいことを一緒に考えてくれるしくみを使いやすく する
いじめをなくす	26		いじめがなくなるようにする
なかま 仲間はずれやひとりぼ つちにさせない	27	新	ひとりぼっちにならないようにする
	28		寂しいと思っている人に、協力し合って連絡を取る
	29		明るい気持ちでいられるように、話などを聞けるように する



施策	番号	区分	事業
地震などが起きたときに、 助けて欲しい人のことを 話し合う	30	新	自分の家で安心して過ごせるようにする
	31	拡	特別な機械を使っている人を助ける内容を、前もって決めておく
	32		家にいられなくなったときに、障害のある人が過ごせる場所を用意する
	33	拡	コロナウイルスにかからないための取組み

基本施策 4

福祉で働く人を増やして、育てる

(福祉人材の確保と育成に向けた取組み)

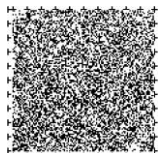
施策	番号	区分	事業
すすんで武蔵野市を良 くしようとする活動を 応援する	34	新	すすんで武蔵野市を良くしようとする活動を応援する
福祉で働く人を増やす	35		相談を受ける職員を育てる
	36		障害以外で福祉の仕事をしている人と一緒に勉強し合う
	37		福祉の専門家を育てるセンターと一緒に活動する
	38	新	前に福祉や看護で働いていた人にまた働いてもらえるように声をかける

基本施策 5

新しいサービスを用意する

(新しい福祉サービスの整備)

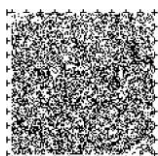
施策	番号	区分	事業
障害者施設がもっと 便利になるようにする	39		体に障害のある子どもなどに、放課後利用できるサービスを行う
	40	新	八幡町にある「障害者福祉センター」を工事して使いやすくする
	41	新	グループホームとして使っていた建物を、別のことに活用する



基本施策 6

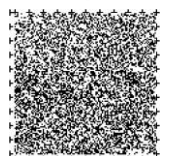
子どもたちが健康で明るく生活できる武蔵野市にする
 (子どもたちが希望を持ち健やかに過ごせるまちづくり)

施策	番号	区分	事業
子どもの専門家「みどりのこども館」をより良くする	42		みんなで子どもや親を助けるしくみをより良くする
	43	しん新	色々な手助けやサービスを広くまとめて行うしくみをつくる
	44		子どもの相談を行う「ハビット」の場所をつくる
学校が終わった後に過ごせる場をより良くする	45		学校が終わった後に過ごせる場をより良くする
	46		体に障害のある子どもなどに、放課後利用できるサービスを行う
小さい子どもの世話を する職員が勉強できる ようにする	47		小さい子どもの世話を する職員が勉強できるようにする
すすんで武蔵野市を良 くしようとする活動を 応援する	48	しん新	先輩お母さんなどが若いお母さんなどと話ができる活動をする



8 計画を進めるために、これから気を付けていくこと

- 障害のある人や家族が住みやすい武蔵野市にしていきます。
- 障害のある人にも、わかりやすく伝えるようにします。
- みんなに障害のある人のことが伝わるよう、一生懸命に、ずっと続けていきます。
- 障害のある人とその家族、サービスを行っている職員などからの意見を大切にします。
- 出された意見をこれからの福祉に役立てます。
- 障害のある人やサービスを行っている職員、福祉の勉強を教えてくれる先生や武蔵野市に住んでいる人などで話し合いを行っている「地域自立支援協議会」の人たちと意見交換します。
- 市役所の中の色々な場所や職員などと大切なことを連絡し合います。
- 連絡し合うことで、障害のある人のことを市役所の職員みんなが理解し、サービスがより良くなるように頑張ります。
- 福祉サービスのことをよく話し合って、良くないところは直していきます。
- 障害のある人の生活をお手伝いする人やお金、しくみなどを上手に使えるようによく話し合って決めます。
- 武蔵野市だけでなく、東京都や国ともよく話し合います。
- 必要な予算やしくみをつくってもらえるように、東京都や国にも話し合ってもらいます。
- 武蔵野市に関係する他の計画を担当している人と、お互いに勉強し合います。
- 障害のある人やサービスを行っている職員、福祉の勉強を教えてくれる先生や武蔵野市に住んでいる人などで話し合いを行っている「地域自立支援協議会」が、この計画についてきちんと行われているかどうかや、もっと良くするためにどうしたらいいかなど、点検していきます。





この計画をまとめたのは、市役所の1階にある障害者福祉課です。「わかりやすい版」は、知的障害のある方などにできるだけわかりやすく計画の内容を伝え、理解してもらうために、市役所と社会福祉法人武蔵野の地域生活支援センターびーとが協力して作成しました。

発行：武蔵野市 編集：武蔵野市健康福祉部障害者福祉課

〒180-8777 東京都武蔵野市緑町2丁目2番28号
電話 0422-60-1904

